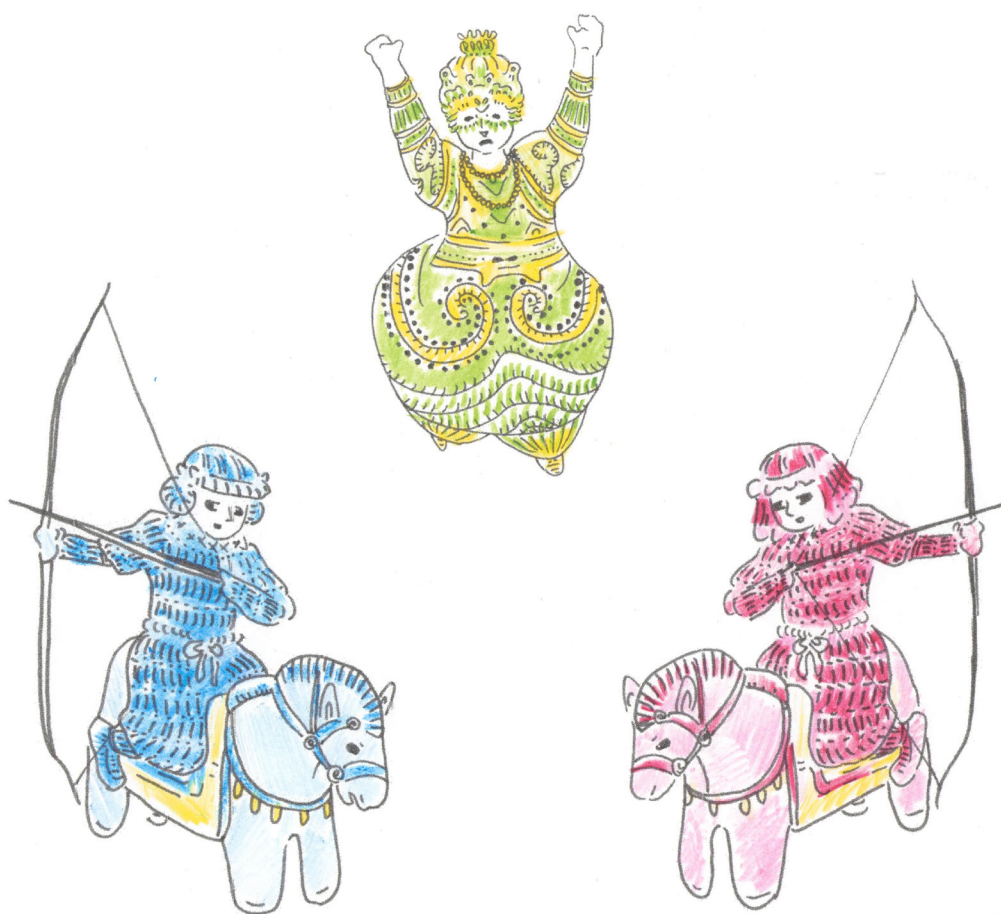




アーティストメッセージ

兵庫県神戸市東灘区御影塚町2丁目に「^{おとめづか}処女塚古墳」があり、ここを中心として東西に「^{ひがしおとめづか}東求女塚古墳」、「^{にしおとめづか}西求女塚古墳」が処女塚の方角に向けて築られました。* 古くは奈良時代の万葉集や平安時代の大和物語の中にも、この三つの古墳にまつわる悲恋伝説が語り継がれており、本作品ではその続編を創造します。

私は、子供の頃から SF やホラー、妖怪にまつわる不思議なコト、奇妙な物語が大好きで、最近では少しずつ知名度を上げてきた消しカスのシリーズ作品もストーリー仕立てにしています。

1300 年以上前から伝わる男女の三角関係ドラマも、いにしえの人々が想像を積み重ねて作り上げた物語なので、さらにもう一段重ねて令和元年版を作っても良いかなあという思いで今回の展示に至りました。この秋は兵庫県立美術館でロマンス探検をお楽しみください★

入江早耶

* 処女塚古墳と西求女塚古墳は三世紀後半、東求女塚古墳は四世紀初頭に築造された。処女塚古墳は 1922 年、西求女塚古墳は 2005 年に国指定記念物（史跡）となった。発掘調査後、現在は公園として管理されている。

1) 入江早耶《純真遺跡 ～愛のラビリンス～》作品スケッチ

入江早耶展 純真遺跡 ～愛のラビリンス～

開催趣旨

兵庫県立美術館では2010年より毎年「注目作家紹介プログラム〈チャンネル〉」を開催してきました。10回目となる2019年度の「チャンネル」では、岡山県出身で広島を拠点として活動する入江早耶(1983～)をご紹介します。入江はこれまで、長靴、鉛筆や化粧品などの日常的な素材を用いて作品を制作するなかで、一貫して、変わらないものの存在を問い続けてきました。消しゴムを用いたシリーズでは、掛軸や写真などのイメージを消し、消し去った観音や小鳥などを小さな立体物として消しカスで制作しています。

本展では、兵庫の「菟原^{うない}処女の伝説」をテーマとして、新作を発表します。二人の男性に求婚された娘はいずれか一人を選ぶことができず、自ら命を絶ち、彼らも娘の後を追いました。悲しい伝説は、作家のユニークな手法によって、新しい視点で現代に生まれ変わります。同じ伝説から着想を得た能「求塚」では、自らのために失われた命によって、娘は永く苦しむこととなりますが、新作では、乙女の純真さに焦点が当てられています。入江の作り出す祭壇によって、娘の長い苦悩は昇華されることでしょうか。美術館の様々な場所に展示された作品を巡り、愛のラビリンスを堪能いただければ幸いです。

※「注目作家紹介プログラム チャンネル」は、担当学芸員がいま最も注目すべきと考える作家を個展形式で紹介してきました。美術館を訪れる人と同時代を生きる美術作家が、さまざまな「チャンネル」を通じ出会う機会となることを目指しています。

開催情報

注目作家紹介プログラム チャンネル10

入江早耶展

ロマンスいせき
 純真遺跡 ～愛のラビリンス～

会期	2019年11月23日(土・祝) - 12月22日(日)
休館日	月曜日
開館時間	午前10時～午後6時(金・土曜日は午後8時まで)
会場	兵庫県立美術館ギャラリー棟アトリエ1ほか
観覧料	無料
主催	兵庫県立美術館
協賛	公益財団法人伊藤文化財団
助成	公益財団法人朝日新聞文化財団 公益財団法人中内力コンベンション振興財団



2)



2)



2)



6) 入江早耶 制作風景

入江 早耶(いりえ さや) 略歴

1983年 岡山市生まれ
2008年 ベルリン・ヴァイセンゼー美術大学(ドイツ) 交換留学
2009年 広島市立大学大学院博士前期課程修了
現在、広島市在住



主な個展

2018年 「Radierungen」 MICHEKO GALERIE / ミュンヘン、ドイツ
2017年 「NEWoMan ART Wall Vol.9 入江早耶」 NEWoMan ART Wall / 東京
2015年 「ERASE ME」 Galerie von der Milwe / アーヘン、ドイツ
2013年 「Every popular thing is beautiful」 ICN ギャラリー / ロンドン、イギリス
2012年 「デイリーハピネス」 資生堂ギャラリー / 東京

主なグループ展

2018年 「かたちを見つめて 第八回 I 氏賞受賞作家展」 岡山県立美術館 / 岡山
「駿河の国の芸術祭 富士の山ビエンナーレ 2018」 大法寺 / 静岡
「PLAY vol.2 - 全ては遊びである ⇄ 何ひとつ遊びではない」 かわら美術館 / 愛知
「Open House」 Hashi Gallery / メキシコシティ、メキシコ
2017年 「Ascending Art Annual Vol.1: すがたかたち」 SPIRAL / 東京、
ワコールアートセンター / 京都
「Hello 開眼」 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA / 滋賀
2016年 「美つくりの里: 旅するアート 2016」 津山城跡 / 岡山
「眼差しと好奇心: anomaly」 ミヅマアートギャラリー / 東京
「Hyper Japanesque」 Jendela Visual Arts Space / シンガポール
「瀬戸内国際芸術祭 2016」 小豆島 / 香川
2015年 「さっぽろアートステージ 2015」 札幌駅前通地下歩行空間 / 北海道
「ディズニー美術」 KUNST ARZT / 京都

主な受賞

2014年 「第7回岡山県新進美術家育成 I 氏賞」 奨励賞
2012年 「第6回資生堂アートエッグ」 Shiseido Art Egg 賞
2009年 「AMUSE ARTJAM in Kyoto 2009」 森本千絵賞
2007年 「新・公募展 2007 Re-Act」 天野太郎賞
2005年 「デザイナーズウィーク 2005」 富士通賞



2)



2)



2)



参考図版) 入江早耶《カンノダスト(菊理媛命)》2018年
掛軸、消しゴムのカス

開催イベント

(1) プレイイベント「友の会塾」 ※兵庫県立美術館「芸術の館友の会」との共催事業

展覧会に先立ち、出品作品と同じく消しゴムのカスで立体を作る方法で制作する第1部と、制作のお話を聞く第2部を開催

第1部 ワークショップ「みんなで、はにわダスト！～消しカスで、はにわ作り～」

日時：11月17日(日) 13:30～15:00(受付：13:15～)

場所：アトリエ2

対象：一般(小学1年生以上)

定員：20名(応募者多数の場合は抽選)

材料費：300円

※制作した作品は、チャンネル展会期中(11月23日～12月22日)に展示し、
12月25日(水)以降、友の会カウンター窓口で返却します

第2部 アーティストとの交流会

日時：11月17日(日) 15:30～16:30(受付：15:15～)

場所：レストランff(当館2階)

対象：友の会会員限定

定員：20名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：800円



2)

お申込み方法

10月30日(水) 締切

イベント名「友の会塾 第1部か、第2部もしくは両方」・氏名・小学生以下の場合は学年・

申込み人数・友の会会員は会員種別・番号を明記のうえ、メール・FAXにてお申込みください

e-mail: tomonokai@artm.pref.hyogo.jp

FAX: 078-262-0903

(2) オープンイベント「入江早耶アーティスト・トーク」

展覧会のオープンを記念して、展示室で今回の新作についてのお話をお伺いします

日時：11月23日(土) 14:00～14:30

場所：アトリエ1

聴講無料

申込不要・直接会場へお越しください



3)



4)



5)

2、3、4、5) 入江早耶《形象八景》
2017年 本、消しゴムのカス

お問い合わせ先

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

TEL: 078-262-0901 (代) FAX: 078-262-0903 (代)

<https://www.artm.pref.hyogo.jp>

取材・画像提供に関すること

営業・広報担当

TEL: 078-262-0905 (担当直通) FAX: 078-262-0903

展示内容に関すること

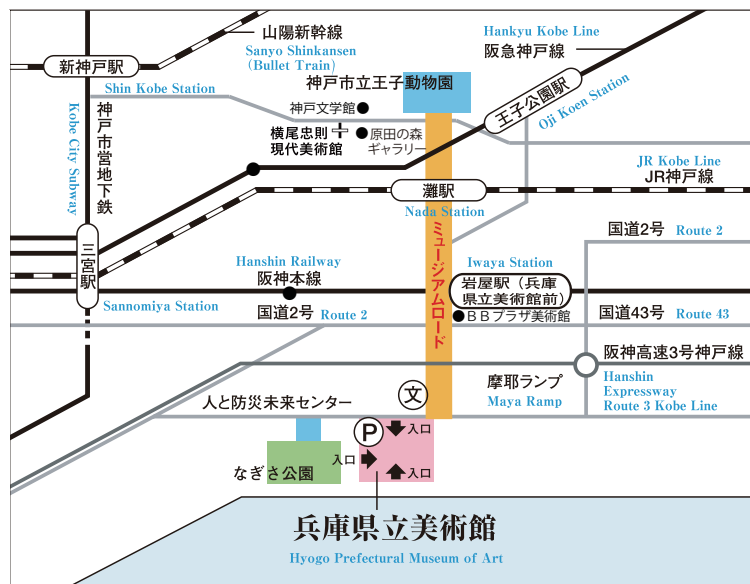
担当学芸員：橋本こずえ

e-mail: hashimoto.k@artm.pref.hyogo.jp

TEL: 078-262-0909 (学芸直通) FAX: 078-262-0913 (学芸直通)

【交通案内】

- ・ 阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分
 - ・ JR神戸線灘駅南口から南に徒歩10分
 - ・ 阪急王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
 - ・ JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）阪神バスにて約15分
HAT神戸方面行き「県立美術館前」下車すぐ
 - ・ 地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
- *ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください
- *団体バスでお越しの場合は、バス待機所のご予約をお願いします。



画像使用に際しての注意

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。末尾の「申込書」をご使用ください。

○作品画像を媒体掲載されるときには、「申込書」に記載の作家名・作品名・制作年・所蔵などを必ず入れてください。

○作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。

○画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません（会期終了まで）。

○再放送、転載など二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。

○基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・
原稿の段階で「営業・広報担当」までお送り
願います。

○展覧会場の取材、撮影をご希望の場合についても、「営業・広報担当」までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。

○本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体（VTR/DVD）、URLなどを、「営業・広報担当」宛てに、1部お送りくださいますようお願いいたします。